

第3章 年 齢 構 造

1 人口ピラミッド

60 歳以上年齢階級がさらに拡大

年齢5歳階級別に年齢構造の推移をみると、0～4歳人口の割合は、昭和25年の13.0%をピークに縮小傾向にあり、45年に9.9%と一時拡大したものの、55年以降は縮小し、平成22年は4.3%となっています。

一方、65～69歳の人口の割合が昭和25年の1.6%から平成22年の6.1%へ、70～74歳が同じく1.1%から5.0%へと拡大するなど、60歳以上の各階級の割合は拡大が続いています。（表3-1）

表3-1 年齢（5歳階級）別人口の割合（大正9年～平成22年）

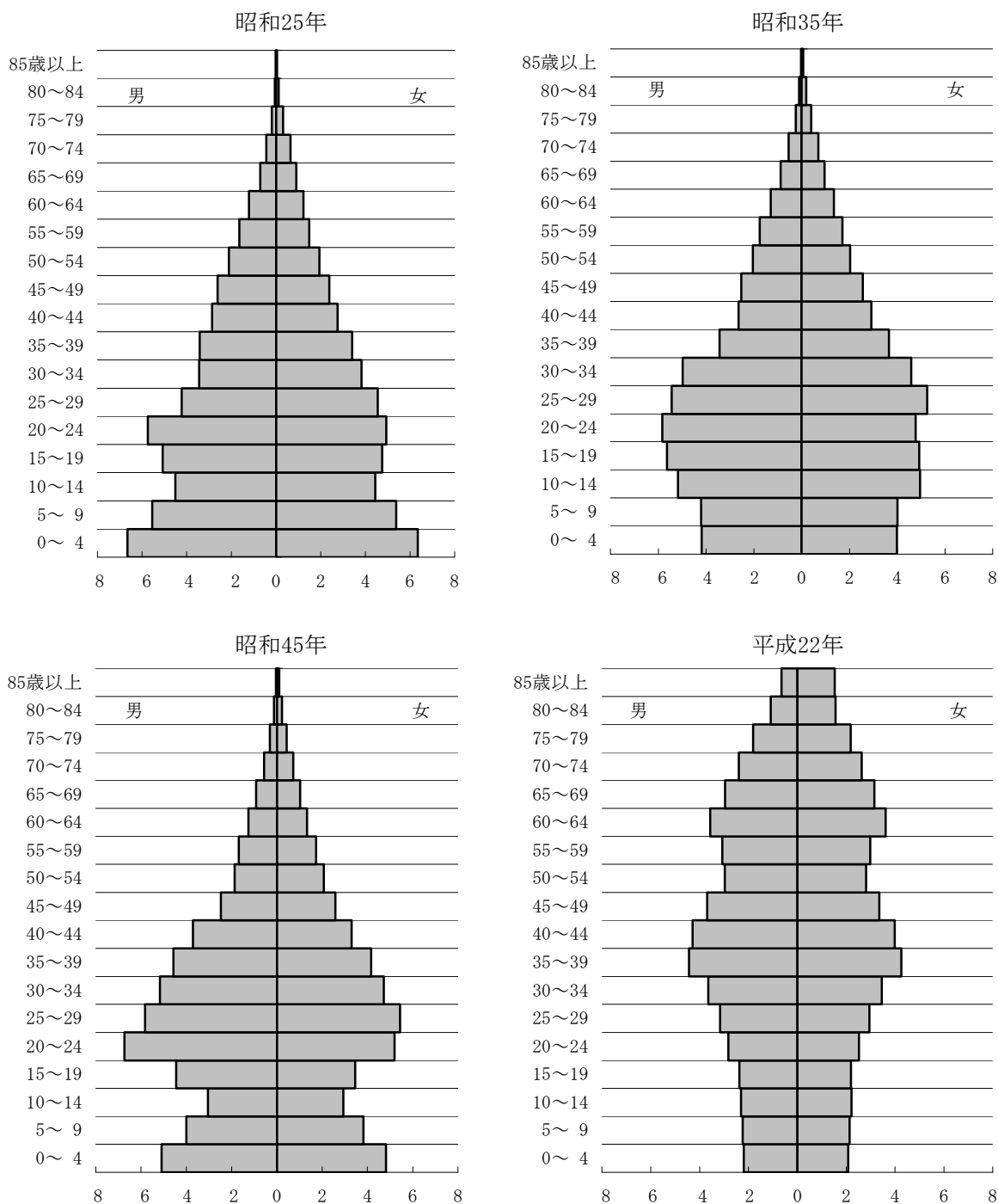
年 齢	大正9年	昭和25年	35年	45年	55年	平成2年	12年	17年	22年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	11.6	13.0	8.2	9.9	7.4	5.2	4.8	4.5	4.3
5～9	10.3	10.9	8.2	7.8	8.8	5.6	4.5	4.6	4.4
10～14	9.3	9.0	10.1	6.0	7.8	6.3	4.6	4.3	4.5
15～19	10.8	9.8	10.6	7.9	7.1	8.2	5.5	4.7	4.6
20～24	10.5	10.7	10.6	11.9	7.2	8.9	7.1	5.9	5.3
25～29	9.7	8.8	10.7	11.3	8.3	8.1	8.9	7.0	6.1
30～34	8.6	7.3	9.6	9.9	10.3	7.0	8.7	8.8	7.1
35～39	7.1	6.8	7.1	8.7	9.1	7.4	7.5	8.4	8.7
40～44	6.2	5.6	5.6	7.0	7.9	8.9	6.3	7.3	8.3
45～49	4.6	5.0	5.1	5.1	7.1	7.8	6.7	6.0	7.1
50～54	3.5	4.1	4.1	3.9	5.7	6.8	8.2	6.3	5.8
55～59	2.7	3.1	3.5	3.4	4.1	6.0	7.1	7.7	6.1
60～64	2.2	2.4	2.6	2.6	3.0	4.6	6.0	6.6	7.2
65～69	1.5	1.6	1.8	1.9	2.5	3.2	5.1	5.5	6.1
70～74	0.9	1.1	1.2	1.3	1.8	2.2	3.8	4.5	5.0
75～79	0.4	0.5	0.7	0.7	1.1	1.7	2.4	3.3	4.0
80～84	0.1	0.2	0.3	0.4	0.6	0.9	1.5	1.9	2.7
85歳以上	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.6	1.2	1.6	2.2

人口ピラミッドの形は「ひょうたん型」

人口の年齢構造の変化は、人口ピラミッドの形の変化で表されます。

横浜市の人口ピラミッドは、昭和 25 年までは年少人口が多く裾が広い「富士山型」をしていました。戦後は一時的に出生率が低下したため、昭和 35 年には「つぼ型」となりましたが、昭和 30 年代後半から第 2 次ベビーブームの 40 年代後半にかけて出生数が徐々に増加したため、45 年の人口ピラミッドは裾が再び広がった「星型」となりました。平成 22 年の人口ピラミッドは、60～64 歳と 35～39 歳の 2 つのベビーブーム世代を中心とした膨らみを持ち、人口の少子高齢化を反映した「ひょうたん型」に変化しています。(図 3-1)

図 3-1 年齢（5 歳階級）、男女別人口の割合（昭和 25 年～平成 22 年） (単位：%)



2 年齢3区分別人口

15歳未満人口が13.3%、15歳以上65歳未満人口が66.6%、65歳以上人口が20.1%

年齢別で人口をみると、15歳未満人口（年少人口）は486,262人（総人口の13.3%）、15歳以上65歳未満人口（生産年齢人口）は2,440,385人（同66.6%）、65歳以上人口（老年人口）は736,216人（同20.1%）となっています。平成17年と比べると老年人口の割合が3.2ポイント上昇し、5人に1人が65歳以上となっています。

従属人口指数（生産年齢人口に対する年少人口及び老年人口の割合）は50.1で、平成17年と比べ6.0ポイントの上昇となっています。

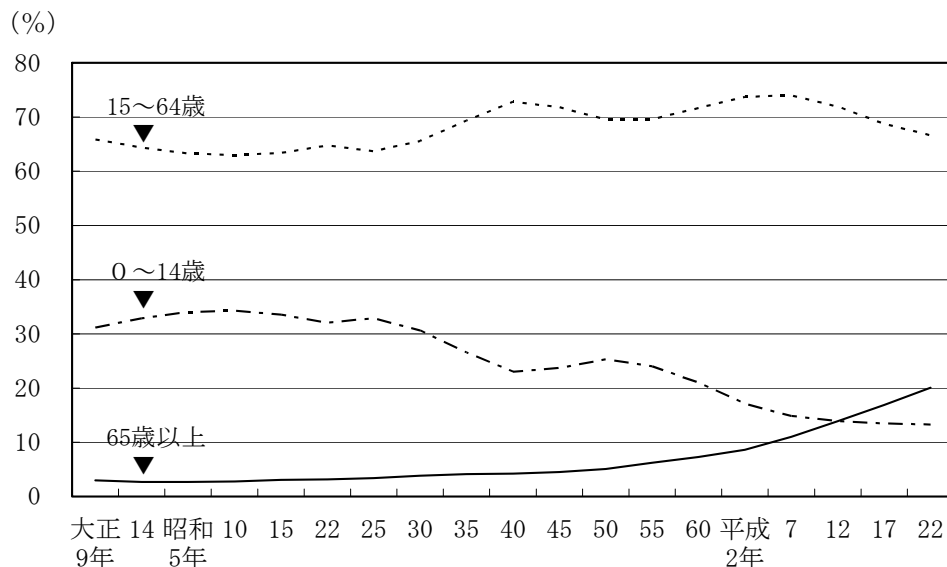
平均年齢は43.4歳で、平成17年と比べ1.5歳上昇しています。（表3-2、図3-2）

表3-2 年齢3区分別人口の推移（大正9年～平成22年）

年次	人 口				年齢別割合 (%) 2)			増減率 (%)			年齢構成指数				平均年齢
	総数 1)	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	年少人口指数 3)	老年人口指数 4)	従属人口指数 5)	老年化指数 6)	
大正 9年	422,938	131,848	278,493	12,597	31.2	65.8	3.0	-	-	-	47.3	4.5	51.9	9.6	-
14年	405,888	133,561	261,380	10,947	32.9	64.4	2.7	1.3	△ 6.1	△ 13.1	51.1	4.2	55.3	8.2	-
昭和 5年	620,306	211,017	392,531	16,758	34.0	63.3	2.7	58.0	50.2	53.1	53.8	4.3	58.0	7.9	-
10年	704,290	241,377	443,464	19,449	34.3	63.0	2.8	14.4	13.0	16.1	54.4	4.4	58.8	8.1	-
15年	934,038	313,340	592,040	28,658	33.5	63.4	3.1	29.8	33.5	47.3	52.9	4.8	57.8	9.1	-
22年	814,379	261,084	527,405	25,890	32.1	64.8	3.2	△ 16.7	△ 10.9	△ 9.7	49.5	4.9	54.4	9.9	-
25年	951,189	312,659	605,886	32,582	32.9	63.7	3.4	19.8	14.9	25.8	51.6	5.4	57.0	10.4	26.4
30年	1,143,687	350,098	749,689	43,875	30.6	65.6	3.8	12.0	23.7	34.7	46.7	5.9	52.6	12.5	27.4
35年	1,375,710	365,008	953,827	56,875	26.5	69.3	4.1	4.3	27.2	29.6	38.3	6.0	44.2	15.6	28.5
40年	1,788,915	411,315	1,302,221	75,379	23.0	72.8	4.2	12.7	36.5	32.5	31.6	5.8	37.4	18.3	29.1
45年	2,238,264	530,939	1,606,628	100,697	23.7	71.8	4.5	29.1	23.4	33.6	33.0	6.3	39.3	19.0	29.5
50年	2,621,771	663,517	1,823,622	132,756	25.3	69.6	5.1	25.0	13.5	31.8	36.4	7.3	43.7	20.0	30.3
55年	2,773,674	666,549	1,931,040	173,291	24.1	69.7	6.3	0.5	5.9	30.5	34.5	9.0	43.5	26.0	32.2
60年	2,992,926	627,834	2,144,889	217,410	21.0	71.7	7.3	△ 5.8	11.1	25.5	29.3	10.1	39.4	34.6	34.0
平成 2年	3,220,331	551,426	2,373,769	278,000	17.2	74.1	8.7	△ 12.2	10.7	27.9	23.2	11.7	34.9	50.4	36.0
7年	3,307,136	491,340	2,447,608	364,760	14.9	74.1	11.0	△ 10.9	3.1	31.2	20.1	14.9	35.0	74.2	38.2
12年	3,426,651	474,656	2,463,151	477,053	13.9	72.1	14.0	△ 3.4	0.6	30.8	19.3	19.4	38.6	100.5	40.1
17年	3,579,628	481,960	2,459,648	603,839	13.6	69.4	17.0	1.5	△ 0.1	26.6	19.6	24.5	44.1	125.3	41.9
22年	3,688,773	486,262	2,440,385	736,216	13.3	66.6	20.1	0.9	△ 0.8	21.9	19.9	30.2	50.1	151.4	43.4

- 1) 年齢不詳を含む。
 2) 年齢不詳を除いて算出している。
 3) 年少人口指数 = (15歳未満人口 / 15~64歳人口) × 100
 4) 老年人口指数 = (65歳以上人口 / 15~64歳人口) × 100
 5) 従属人口指数 = (15歳未満人口 + 65歳以上人口) / (15~64歳人口) × 100
 6) 老年化指数 = (65歳以上人口 / 15歳未満人口) × 100

図3-2 年齢3区分別人口の割合の推移（大正9年～平成22年）



3 行政区人口の年齢3区分別割合

15歳未満人口の割合は市内北部で高く、65歳以上人口割合は11区で20%超

行政区別で年齢別人口をみると、15歳未満人口の割合は、都筑区（18.5%）や青葉区（15.3%）といった市内北部の区で高い数値となっています。一方、65歳以上人口の割合（高齢化率）は栄区（24.3%）、旭区（24.3%）、磯子区（23.0%）などの11区で20%を超えており、都筑区（13.6%）が唯一15歳未満人口割合（18.5%）より低くなっています。

平均年齢が一番低い都筑区（39.0歳）と一番高い南区（45.6歳）で6.6歳の差となっています。

（表3-3、図3-3、3-4）

表3-3 年齢3区分別人口—横浜市・行政区・神奈川県・全国（平成22年）

行政区	人 口				年齢別割合 (%) 2)			年齢構成指数				平均年齢
	総数 1)	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	年少人口指数 3)	老年人口指数 4)	従属人口指数 5)	老年化指数 6)	
横浜市	3,688,773	486,262	2,440,385	736,216	13.3	66.6	20.1	19.9	30.2	50.1	151.4	43.4
鶴見区	272,178	35,494	185,528	49,012	13.1	68.7	18.2	19.1	26.4	45.5	138.1	42.6
神奈川区	233,429	26,707	160,983	43,918	11.5	69.5	19.0	16.6	27.3	43.9	164.4	43.0
西区	94,867	9,845	66,286	17,513	10.5	70.8	18.7	14.9	26.4	41.3	177.9	43.5
中区	146,033	15,174	93,903	29,346	11.0	67.8	21.2	16.2	31.3	47.4	193.4	45.4
南区	196,153	21,566	128,769	44,395	11.1	66.1	22.8	16.7	34.5	51.2	205.9	45.6
港南区	221,411	28,400	143,845	49,132	12.8	65.0	22.2	19.7	34.2	53.9	173.0	44.6
保土ヶ谷区	206,634	25,126	134,744	45,656	12.2	65.6	22.2	18.6	33.9	52.5	181.7	44.6
旭区	251,086	31,934	157,710	60,847	12.7	63.0	24.3	20.2	38.6	58.8	190.5	45.5
磯子区	163,237	19,543	105,578	37,478	12.0	64.9	23.0	18.5	35.5	54.0	191.8	45.3
金沢区	209,274	26,612	135,992	45,550	12.8	65.3	21.9	19.6	33.5	53.1	171.2	44.6
港北区	329,471	40,973	231,711	54,557	12.5	70.8	16.7	17.7	23.5	41.2	133.2	41.6
緑区	177,631	25,869	117,001	34,523	14.6	66.0	19.5	22.1	29.5	51.6	133.5	42.6
青葉区	304,297	46,505	209,212	48,278	15.3	68.8	15.9	22.2	23.1	45.3	103.8	41.0
都筑区	201,271	36,602	134,128	26,782	18.5	67.9	13.6	27.3	20.0	47.3	73.2	39.0
戸塚区	274,324	39,337	179,316	55,080	14.4	65.5	20.1	21.9	30.7	52.7	140.0	43.0
栄区	124,866	16,530	77,775	30,287	13.3	62.4	24.3	21.3	38.9	60.2	183.2	45.2
泉区	155,698	21,716	98,446	34,994	14.0	63.4	22.6	22.1	35.5	57.6	161.1	44.3
瀬谷区	126,913	18,329	79,458	28,868	14.5	62.7	22.8	23.1	36.3	59.4	157.5	44.1
神奈川県	9,048,331	1,187,743	5,988,857	1,819,503	13.2	66.6	20.2	19.8	30.4	50.2	153.2	43.4
全国	128,057,352	16,803,444	81,031,800	29,245,685	13.2	63.8	23.0	20.7	36.1	56.8	174.0	45.0

1) 年齢不詳を含む。

2) 不詳を除いて年齢別割合を算出。

3) 年少人口指数 = (15歳未満人口 / 15~64歳人口) × 100

4) 老年人口指数 = (65歳以上人口 / 15~64歳人口) × 100

5) 従属人口指数 = (15歳未満人口 + 65歳以上人口) / (15~64歳人口) × 100

6) 老年化指数 = (65歳以上人口 / 15歳未満人口) × 100

図3-3 行政区別平均年齢（平成22年）

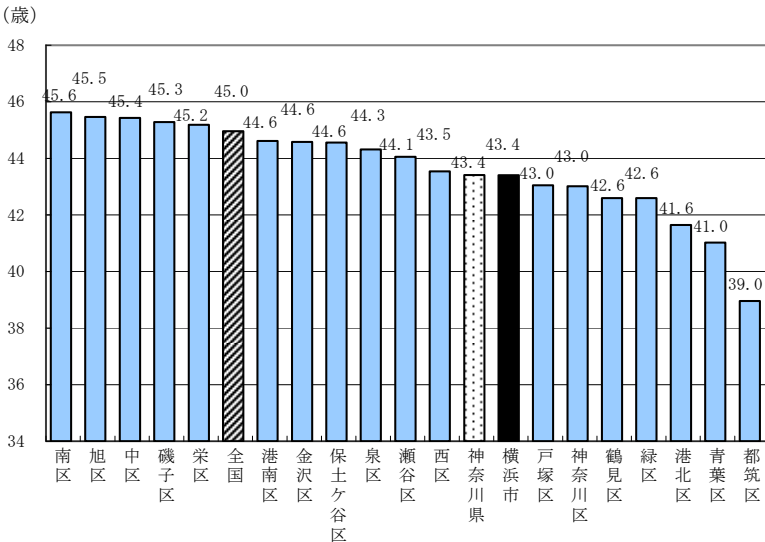


図3-4 行政区別高齢化率（平成22年）

